



まいばら親子の絆プロジェクトが始動!!

まいばら親子の絆プロジェクト

まいばら
号外

～ 今、ここから見つめ直す 親子の絆 ～

まいばら親子の絆 プロジェクト通信

第1号

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
TEL 52-06026
FAX 52-51995

はじめに

親子の絆に向き合う ことから始めよう

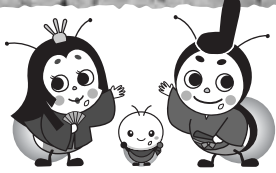
「絆」、それは
断つことのできない
人と人との大切な結びつき

この「絆」が、近年失われつつある
と言われています。このことは、子育
の孤立問題や児童虐待の問題、さら
には若者の都市への流出や高齢化によ
る地域力の衰退などにつながっており、

私達の住んでいる米原市においても例
外ではありません。
普段は気にしない、空気みたいな存
在である親子。

その「親」と「子」の絆を大切にす
ることが、家族や地域の絆を深めてい
くと考え、米原市では昨年度から『ま
いばら親子の絆プロジェクト』に取り
組んできました。

みなさんから寄せられた 親子の絆メッセージ



親子の絆メッセージ《親から子へ》

- お母さんは、二人がいるから何でもがんばることができます。つらい時、しんどい時でも二人の顔を見れば、疲れも吹っ飛ば、私のエネルギーです。大きくなっていくにつれ、親離れしていきだろけど、死ぬまでずっと二人のことは一番の宝物のままです。どんなことから私は絶対二人を守り抜くから、安心して元気いっぱいやりたいことはすべてやっていってね。強いお母さんがいるから大丈夫!
- 毎日朝早くて、夜遅いのに「お仕事ガンバってね」と応援してくれてありがとう。お休みの日はいっぱい遊ぼうね。
- あんたらには、何でも挑戦してほしいんや。結果なんかどうでもええ。挑戦こそがこれからの人生の力になるさかい。うまくいったら自信がつく。うまくいかなくて傷ついても、その分周りの人にやさしくなれる。傷ついて立ち直れんって思っても、すぐそばにお母さんがいる!安心して何でも挑戦してや!!
- ギュッと抱っこしてトントンしてあげてる時に、一緒に小さな手でトントンしてくれるのが大好きです。また「ギュッ」「トントン」してね。
- かあちゃんより一緒にいる時間は短いけど、お風呂の時にいつも父ちゃんをご指名ありがとうございます。あれが一番嬉しいよ!



親子の絆メッセージ《子から親へ》

- お父さん、いつもお仕事がんばってくれて「ありがとう」。お母さん、おいしい料理を作ってくれたりして「ありがとう」。この「ありがとう」って言葉は時々言いにくいけど、これからは心を込めて感謝の気持ちで言えそうです。
- おとん おかん いつもありがとう。結婚式でも言った言葉ですが、子どもを授かり自分が親になった今だから、本当にありがとうございます。声に出して言うのははずかしいので、二人が天国に行くまでには必ず言わせてもらいます。
- 僕が生まれて半年後に他界してしまった父さん。今、父さんが亡くなった歳に近づいてきて、家族を遺していく無念さ、口惜しさを思うと胸が痛くなります。でも、でも、みんな元気でしっかりと暮らしているので、安心してな。ありがとう、父さん。

メッセージの総数は587通。これからもプロジェクトのPRに活用していきます。

いままでの 取り組みについて

～ 昨年度からの計画と結果報告 ～

親子の絆プロジェクトは、昨年4月にスタートしました。

まず、親子の絆づくりを重点的に推進していく日として7月第4日曜日を「親子の日」と設定し、この日を中心に親子が参加し、絆を強められるイベントを計画しました。

また、企業との協働による企画や、ご賛同いただいた各種団体から独自に親子の絆に関する事業を開催していただけるなど、このプロジェクトは市内に広く波及していきました。

多くのみなさんにイベントに参加してもらったことができ、親子の絆を再確認できるきっかけになったのではないのでしょうか。



まいばら絆博

合併5周年イベントとして「まいばら絆博」を開催。自治功労者表彰やミニライブなどが行われたほか、特産品が集まった屋台村では米原の再発見と交流の場になりました。そして、フィナーレでは、伊吹高校書道部のダイナミックな書の実演で見事な「絆」が結ばれました。



親子で会社訪問

レーシングカーの製造などを行う(株)童夢とエレベーターの研究・製造を行うフジテック(株)に、小学校6年生の親子が会社訪問。ずらり並んだレーシングカーや、高さ170メートルのエレベーター研究塔からの眺望を、親子で目を輝かせながら楽しみました。



親子で絵本づくり

親子で物語や挿絵を考えるオリジナルの絵本作りに挑戦。「どんなお話にしようかな」、「色紙を貼ったらきれいだね」などと、親子で創造の世界を共有しながら、かけがえのない「わが家の絵本」ができました。



親子でチャレンジ

伊吹山登山に挑戦した1組の親子を密着取材。お互いに励ましあって歩いたり、お母さんの手作り弁当を笑顔で食べたりする姿がとても心温かく、親子でひとつのことを成し遂げた後には、さらに強い親子の絆が育まれていました。



「親子の絆」を育みましょう

学校や地域の親子イベント

親子で浄水場学習

市内小学校4年生の
授業で実施

みんなで伊吹山に登ろう

市内の幼・小・中学校で
実施予定

春照地区歴史文化講座

8月春照区民対象に実施予定

親子が参加できるイベント

親子で絵本づくり教室

オリジナル絵本を作成
8月開催予定

本はともだち 「おはなし隊」

配本車で子どもたち
にお話を届けます(就学前対象)

イクメン養成講座

「パパ'S絵本プロジェクト」による
絵本ライブ&トーク
7月24日(日)開催

親子で散策 サイクリング

電動自転車
米原を散策します

子どもの創作体験活動 「遊びの宝島へGO!」

創作・体験・交流できるイベント
11月開催

いきいき 健康ウォーク2011

秋の米原を親子でウォーク
11月開催予定

まいばら親子自然観察会

伊吹山や湧水、ホテルなど
米原の自然を巡りながら、
親子で楽しく学べる観察会

ルッチプラザ 10周年記念

ルッチプラザ周辺で夏のお祭!
8月開催予定

親子で食育講習会

簡単な調理をしながら食育を
学びます。7月開催予定

親子マリン スポーツの集い

親子でカヌー教室
夏と秋に開催

ゆっくりかっつとび伊吹2011

(スポーツ少年団交流事業) 7月開催予定

平成23年度の注目情報

やまの里がるまじばら親子の絆プロジェクト!!

平成23年度は「親子の絆」から、家族や地域の絆へとさらにその取組を拡大し、「人と人」・「地域と地域」が強固につながり、社会全体で絆が育まれるまちを目指していきます。そのため、市でも「絆」にこだわった予算編成を行い、職員一人一人が絆を意識し、あわせて64件の「絆事業」に全庁的に取り組んでいます。

ご覧のように、親子で参加できる様々なイベントを開催しますので、親子の絆をさらに育む機会として、ぜひご参加ください。また、みなさんのご家庭ならではの親子エピソードが感じられる携帯写真や川柳の作品もお待ちしています。

「親子の絆」を見つめましょう

水源の里まいばら Oyako写真展

写真家ブルース・オズボーン
が撮影した水源の里親子の写真展
7月開催

発達障がい研修会

発達障がいへの理解を
深める研修
秋開催予定

まいちゃん子育て応援隊

応援隊登録事業者と
子育て支援を行います

福祉のまちづくり講座 in米原

秋開催予定

不妊治療応援事業

特定不妊治療(保険外診療)を
対象とした治療費を助成します

出産お祝いカード交付

出生届の際にお祝いの
メッセージカードをプレゼントします



親子の絆 携帯写真展 作品募集

テーマはズバリ「親子の絆」
何気ない日常にこそ親子の心あたたまるシーンがある。それは笑顔だったり泣き顔だったり、時には後ろ姿だったり。そんな日常を携帯カメラで撮影してください。

【応募条件】

- (1) 親子で写っている写真で、親のみ・子のみ写真は不可
- (2) 応募者は写真に写る親子の家族であること(市内在住)
- (3) 携帯電話のカメラで撮影した写真
- (4) 他の写真展などに応募していない写真
- (5) 応募作品の使用権は米原市に帰属します
- (6) 応募作品は「まいばら親子の絆プロジェクト」の事業で活用します

【応募方法】

携帯電話で撮影した写真をメールで応募送信してください。本文に「写真のタイトル、メッセージ、住所、氏名、電話番号」記入し添付してください。

【応募締切】6月30日(木) 必着

【賞】

- 大賞1点(商品券1万円)、
- 親子の絆プロジェクト賞2点(商品券5千円)
- 親子賞5点(応募者の中から抽選・商品券1千円)



帰って川柳 作品募集

「親子の絆」を感じる瞬間。それは懐かしい故郷を思うとき、離れて暮らす子どものことを思うとき。「親子の絆」を見つめて感じた、ふるさとからのメッセージやふるさとへの想いを5・7・5に込めてください。

【テーマ】離れて暮らす子ども、独立した子どもに向けて、親からのメッセージ。または離れて暮らす親に向けて、子からのメッセージ。

【応募条件】

- (1) 市内に在住、在勤、在学または市内出身の方
- (2) 未発表で自作の作品を一人3作品まで
- (3) 応募作品の使用権は米原市に帰属します
- (4) 応募作品は「まいばら親子の絆プロジェクト」の事業で活用します

【応募方法】

作品に住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号を明記の上、はがきまたはメール・FAXで応募

【応募締切】6月30日(木) 必着

【賞】

- 大賞1点(商品券1万円)、
- 親子の絆プロジェクト賞2点(商品券5千円)
- 親子賞5点(応募者の中から抽選・商品券1千円)



親子でチャレンジ 大募集!

「親子で〇〇に挑戦したい」、「苦手な〇〇を親子で克服したい」など親子でチャレンジしてみたいことはありませんか?

採用されたチャレンジの模様を撮影し、そのかけがえのない経験をビデオにしてプレゼントします。

【応募条件】

- (1) 市内在住の親子(年齢不問)で挑戦したいこと
- (2) 費用の追加のみで達成できるものでないこと
- (3) 7月末~8月中旬に撮影可能なもの
- (4) 市内または近隣でチャレンジできること
- (5) 記録ビデオは伊吹山テレビで放送するほか、まいばら親子の絆プロジェクトで活用します

【応募方法】

応募用紙に、必要事項を記入のうえ、各庁舎の窓口または左記までご応募ください。応募用紙は市役所各庁舎、図書館などに設置しているほか、市の公式ウェブサイトからもダウンロードできます。

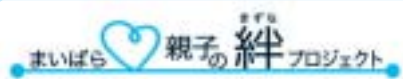
【結果発表】

チャレンジは1組の親子になりますので、選考の上、採用者に通知します。

【応募締切】6月30日(木) 必着



お問い合わせ・各募集のお申し込み先：政策調整課 ☎0749-52-6626 ☎0749-52-5195
〒521-8501 滋賀県米原市下多良三丁目3番地 米原市役所(米原庁舎) Mail: sousei@city.maibara.lg.jp



「まいばら親子の絆プロジェクト」の対象事業は今後定期的に発行する広報まいばら号外で募集や告知など詳しい情報をお知らせします。このロゴマークが目印です。

市内に「親子の絆」の輪を広げましょう!

市内で活動するNPO、市民活動団体、企業、自治会やサークルでも「親子の絆プロジェクト」にご協力をお願いします。親子を対象としたイベント、親子にまつわる啓発事業など、賛同いただける場合は、担当までお知らせください。「まいばら親子の絆プロジェクト対象事業」として市が行う広報で紹介いたします。